

みなさまの応援で滋賀を元気に！

令和6年度 滋賀応援寄附活用事業のご報告

みなさまからいただいたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。
ご支援ありがとうございました！



① 美しい琵琶湖を守ろう

寄附金活用額 23,678千円

- 琵琶湖版のSDGsであるマザーレイクゴールズ（MLGs）を周知・推進するための取組や琵琶湖の豊かな生態系を取り戻すため、外来魚回収ボックスを設置する等、外来生物の駆除活動を行いました。
- オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の駆除を行いました。
- 琵琶湖水質調査項目（クロロフィル等）を測定する装置（紫外可視分光光度計）を購入しました。



② すべての犬と猫の幸せを願って

寄附金活用予定額 29,785千円

- 人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けて、地域猫活動の支援や適正飼養の普及啓発を行いました。
- 犬猫の譲渡を推進するため、ワクチン代や検査キットなどの動物用医薬品代、哺乳期に必要な飼料や器具代に活用しました。
- また、寄附金の一部は基金に積み立てて、今後、共生社会の推進や飼養環境の改善に向けた事業に活用する予定です。



③ 大阪・関西万博での貴重な体験を滋賀の子どもたちに

寄附金活用予定額 1,986千円

- 現在、開催中の大阪・関西万博に滋賀の子どもたちを招待する取組に活用しています。
- 実際に訪問した子どもたちからは、「今まで知らなかった国について知ることができた」や「自分の視野が広がり、未来について考えることができた」などの感想が寄せられています。



④ 近江の地場産業と伝統工芸品を応援しよう

寄附金活用額 2,435千円

- 滋賀県の伝統的工芸品や地場産業の逸品が一堂に会する「旅する滋賀のモノづくり展」を開催し、展示、販売だけでなく、職人の製作実演や、製作体験を通じて、滋賀県の伝統的工芸品や地場産業の魅力を発信しました。



⑤ 学習船「うみのこ」を応援しよう

寄附金活用額 2,166千円

- 学習船「うみのこ」での児童学習航海を、県内すべての小学5年生を対象に1泊2日の航海を全102回実施しました。
- 「プランクトンや魚の観察」や「びわ湖の水の透視度調査」など「びわ湖学習」が充実するよう活用させていただき、子どもたちの「環境に主体的に関わる力」をはぐくむことができました。



⑥ 近江牛を日本一に

寄附金活用額 4,000千円

- 近江牛の地域内一貫生産体制を強化するため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設(キャトル・ステーション)の運営に活用しました。
- このほか、「牛よし」「人よし」「社会よし」の“三方よし”の近江牛生産の取組や、滋賀県生まれ、滋賀県育ちの近江牛づくりを推進するための取り組みをしました。



⑦ 世界農業遺産「琵琶湖システム」と美しい棚田を未来へ

寄附金活用額 1,289千円

- 世界農業遺産「琵琶湖システム」を保全し次世代に継承するため、生産振興、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用に取り組んでいます。
- 中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算により、「棚田等の保全」、「多面にわたる機能の維持・発揮」等に資する集落独自の取組を支援し、棚田地域の振興を図ります。



滋賀県内の棚田

⑧ 滋賀県の大学を応援しよう

寄附金活用予定額 11,558千円

- 指定いただいた各大学の、各大学が有する特色を伸ばし、未来を作り上げることができる人材の育成に向けた取組への支援に活用しました。(一例:滋賀大学においてwebカメラ等のオンライン会議用機器・AI分野の電子書籍を整備)
- さらに、県内大学の理系的素養をもった人材のすそ野拡大につながる取組への支援にも活用し、29の事業で4,020人に体験を届けることができました。
- また、寄附金の一部は基金に積み立て、今後も各大学の取組への支援等に活用する予定です。

⑨ 県立学校を応援しよう

寄附金活用予定額 6,689千円

- 指定いただいた各学校で考えた取組事業を実施しました。(一例:膳所高校の「部活動の応援」でウォータークーラーを購入)
- またこのほか、寄附金の一部は積み立てて、今後、指定いただいた各学校で考える取組事業において活用する予定です。



⑩ 子どもたちに**読書のよろこび**を 寄附金活用額 2,615千円

- 絵本を中心に、児童書約1,400冊を購入しました。
- 主に傷みが激しく、書庫にしまわざるを得なかったロングセラーの絵本の買い直しを行いました。書棚に並べるとすぐに子どもたちの手に取られ、新刊に負けない勢いで借りられています。おかげさまで多くの本が生き返りました。



⑪ **国スポ・障スポ**を応援しよう 寄附金活用額 4,289千円

- 今秋に滋賀県で開催する『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』に向けた次世代アスリートの発掘・強化・育成や、大会の競技会場となる施設の改修等に活用しました。



競技体験プログラム
(フェンシング)



関西みらいローイングセンター

⑫ 子どもたちに「**高専**」という新たな 選択肢を 寄附金活用額 2,351千円

- 学生確保に向けた広報活動や教員の確保など、県立高専の設置準備に活用しました。



(県立高専HP)



⑬ 滋賀の未来を担う高校生の**留学**を 応援しよう 寄附金活用額 585千円

- 令和6年度に海外留学に派遣する生徒の奨学金として、御寄附を活用させていただきました。令和6年度は、38名の生徒(滋賀県内の高等学校等19校)を17か国に派遣しました。



⑭ 子どもたちが集う**矢橋帰帆島**を 応援しよう 寄附金活用額 634千円

- 矢橋帰帆島公園「子どもの広場」で使用禁止となっている遊具の更新に活用します。
- 令和7年度中には、一部エリアの先行リニューアルを行い、令和8年度中に全ての遊具リニューアルが完了するよう進めています。



⑮ 地域の**防犯力**を高めよう 寄附金活用額 345千円

- 地域の安全安心を見守る防犯カメラを設置するための事業費の一部として活用しました。
- 未来の自主防犯活動の担い手となるヤングボランティアへの活動支援に活用しました。



⑯ 子ども×大人でつくる滋賀の未来 こどなBASEを応援

寄附金活用額 255千円

- 滋賀県に関わる様々な企業・団体が、将来社会の担い手となる子ども・次世代と共に未来をつくるため、自社の魅力/想い/強みを子ども・次世代に伝えられる体験プログラムの企画や実施を伴走支援する取組に活用し、44の参加企業・団体により県内1,266人の子どもたちに体験プログラムを届けることができました。



⑰ キラリと光る滋賀の交通安全

寄附金活用額 543千円

- 新型の「運転技能自動評価システム(通称オブジェ)」を導入する事業費の一部として活用しました。交通安全教育に利用し、交通事故防止に役立てています。(交通企画課)
- 防護柵の更新、路側帯のカラー舗装化、路面標示・外側線の引き直し等のハード面やルール・マナーの徹底などのソフト面の両面から、交通事故防止対策に取り組みました。(道路保全課)



⑱ 琵琶湖博物館を応援しよう

寄附金活用額 1,610千円

- 「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ発信する博物館」を目指し、情報発信や展示室の維持管理と資料整備を行いました。



⑲ 子どもたちの健やかな育ちを守ろう

寄附金活用額 32,662千円

- 滋賀で生まれた赤ちゃんとそのご家族へ、「生まれてきてくれてありがとう」「元気に育ってね」という気持ちを込めて贈り物をお届けしました。



⑳ 県立病院を応援しよう

寄附金活用額 942千円

- 県民の期待に応える質の高い医療を提供するため、高度医療機器の整備費の一部として活用しました。



(上)放射線治療計画用CT装置



(左)血管撮影装置

㉑ 犯罪被害者が充実した支援を受けられる社会を目指して

寄附金活用額 268千円

- 24時間365日、性犯罪・性暴力被害についての相談を受け付け、被害にあわれた方がさらに傷つけないようワンストップで支援する「性暴力被害者総合ケアワンス トップびわ湖(SATOCO(サトコ))」の運営事業費の一部として活用しました。



②② 滋賀の文化財を次世代へ

寄附金活用額 5,783千円

- 「幻の安土城」復元プロジェクトの一環で、安土城考古博物館を展示リニューアルしました。（令和7年3月リニューアルオープン）
- 新・琵琶湖文化館について、建設工事を進めるとともに、開館準備や広報に取り組んでいます。（令和9年12月開館予定）



②③ 障害者スポーツを応援しよう

寄附金活用額 455千円

- 障害者が身近な地域で継続的にスポーツに親しめる環境を整え、誰もがスポーツを楽しむ機会を設けることで、障害者スポーツを振興し、スポーツを通じた共生社会の実現を目指して実施しました。



②④ 伊吹山の自然を守ろう

寄附金活用額 179千円

- 頂いた寄附金は伊吹山の公園施設等の修繕に活用しました。

②⑤ 戦争の悲惨さや平和への願いを次世代へ語りつごう

寄附金活用額 360千円

- 戦後80年に向け、戦争の悲惨さや平和への願いを次世代へつなげていくため、滋賀県平和祈念館の第35回企画展示「戦場となった南洋の島々」および第36回企画展示「戦時下の滋賀県民とスポーツ」に活用しました。

②⑥ 滋賀県とミシガン州の国際交流を応援しよう

寄附金活用額 149千円

- 彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センターの国際交流事業に活用しました。
- 同センターでは、令和6年度は124名のミシガン州からの留学生に対して日本語を学ぶプログラムを提供。
- 留学生の県内企業へのインターンシップや県民との交流行事などを通じて国際交流を進めました。



②⑦ びわ湖マラソンを応援しよう

寄附金活用額 3,857千円

- 「びわ湖マラソン」がより多くの方々に愛される大会となるよう、滋賀県ならではの給水・給食や来場者へのおもてなしなど、大会運営のために活用しました。



②8 CO₂ネットゼロ社会を実現しよう

寄附金活用額 1,111千円

- 次世代を担う若者が、CO₂ネットゼロに資する取組を行う企業を取材し、若者の感性を活かして県HPやSNS等で発信することにより、CO₂ネットゼロの取組を「見える化」し、県民等に周知することで「自分ごと化」「行動変容」をすすめています。



②9 滋賀県のがんばる医療・福祉・感染症対策を応援しよう

寄附金活用額 2,302千円

- 次期感染症を見据え、感染症への対応力強化のため、麻しんウイルス・風しんウイルス等のすべてのウイルス検査に必要な「自動核酸抽出装置」の更新に御寄附を活用しました。



③0 「やま・森」を楽しもう

寄附金活用額 1,097千円

- 近江富士花緑公園の管理・運営に活用しました。
- 子どもからお年寄りまで、四季を通じて「やま・森」を楽しんでいただきました。



③1 令和6年度能登半島地震に伴う代理受付

寄附金活用額 1,318千円

- 皆様からいただいたご寄附につきましては、しっかりと石川県能登町に届けさせていただきました。

滋賀県をもっと元気にするため、持続可能な滋賀県であるため...

滋賀県では、皆さまからのご支援をお待ちしております。

お問い合わせ

滋賀県 総務部 行政経営推進課 営業戦略係

〒 520-8577 (住所不要)

【e-mail】 shigaouen@pref.shiga.lg.jp

【TEL】 077-528-3298 【FAX】 077-528-4827

今年度の活用予定は
HPでご案内しています。



滋賀県HP

